

18 習熟度別学習のための授業の展開を、どのように工夫したらよいでしょうか。

新しい教材について指導をはじめするために、まず第1にやらなければならないことは、その教授・学習目標の構造化を図り、目標分析を行うことです。

目標分析の手順として次のような点があげられます。

- (1) 教科・学年の目標，教科の学習内容の構造化
- (2) 基本的指導事項の確認とその到達目標の明確化
- (3) 目標に到達するための教材要素の選定
- (4) 授業過程の設計
- (5) 毎時の授業過程における到達目標の設定

第2に重要なことは、授業過程の設計です。授業展開計画については、到達目標は、同一と想定して指導しますが、結果として到達度が異なることの配慮が必要です。学習到達度の違いを予想し、基礎・基本目標，発展目標に組織化し、習熟度の多様化に対応するための分岐型コースを準備します。その際、到達目標を明確にし、それぞれに応じて下位目標を設定し、生徒の習熟度に応じた多様な補説の方法を準備しておきます。

以上をフローチャートで示せば、図14のとおりです。

図14について説明します。

